

# 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

## 1 趣旨

スクールガード・リーダーとして委嘱された警察官OBや防犯の専門家等が、学校を巡回して学校の安全体制の点検及び指導をするとともに、子どもの登下校時の安全を見守るスクールガード(学校安全ボランティア)の研修会を開催し、見守り活動の留意点の確認や情報交換を行い活動の充実を図るなど、地域ぐるみで安心・安全な学校づくりを支援する体制を整備する。

## 2 スクールガード・リーダーの配置

(1) これまでの配置状況

年 度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
実施市町数	20	20	20	20	18	13	13	12
委 嘱 数	26	33	33	36	32	27	24	24

(2) 具体的な活動内容

- 侵入者に対する警備のポイントや学校の安全体制の点検と助言
- 学校周辺の防犯上・交通安全上の危険箇所の点検と助言
- 学校における防犯教室、地域のスクールガード研修会における指導・助言



## 3 スクールガード研修会の開催

(1) これまでの開催状況

年 度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
実施市町数	県主催3会場	県主催3会場	県主催3会場	県主催17会場	18	19	19	19
参加者数	480	520	550	1,500	1,500	1,800	1,700	2,100

(2) 研修会の主な内容

- 警察やスクールガード・リーダー等防犯の専門家の講話
- 実践発表
- 情報交換



## 4 成果と課題

スクールガード・リーダーが学校を巡回訪問して、各学校の安全計画や危機管理マニュアル等の確認、校内の施設・設備や通学路の危険箇所の指摘など、安全体制の点検・評価を行うことにより、学校の安全管理体制や組織活動の見直し改善が図られている。また、スクールガード研修会の開催により、地域の見守り活動がより効果的な取組となるよう支援している。

今後とも、学校は、スクールガード・リーダーの指導を生かし、それぞれの実情に応じて、危機意識を常に維持し、保護者・スクールガード等と連携した取組を、組織的、実効的、継続的に実施し、地域ぐるみで児童生徒の安全を確保する必要がある。

